

春光に 堤体冴える丸山ダム

月刊丸山ダム

2026年
3月号

発行所
美濃市内自宅
発行者
丸山ダム愛好家
佳(よっしー)



2026年03月21日撮影

～お知らせ～ 丸山ダム熟成茶 貯蔵開始

丸山ダム堤体内で
日本茶の貯蔵を開始しました
旅足川の源流から丸山ダムへ～同じ水が育む熟成茶～

丸山ダムのダム湖「丸山蘇水湖」に流れ込む「旅足川」の水源地域で育まれたお茶を丸山ダムの堤体内で熟成させる取り組みです。



ダムの堤体内にある貯蔵庫は、外部の影響を受けにくい空間です。
・年間を通して涼しく温度が安定している
・光が入らない暗所
・静かで振動が少ない環境
この条件は日本茶の熟成に適しています。
静かにゆっくりと丸山ダムの堤体内で時を刻みます。

岐阜県八百津町産茶葉生産者
・八百津町製茶組合
・緑野製茶家(八百津町福地)
・治平茶園(八百津町久田見)
貯蔵茶種
・煎茶
・ほうじ茶
・番茶

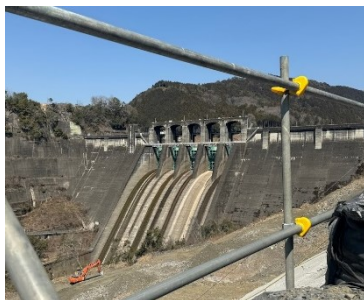


八百津町の水源地域で育まれたお茶を、地域を支える
ダム堤体内という特別な環境を活用し貯蔵します。

主催・企画・運営：八百津町茶部会
協力：八百津町・国土交通省 中部地方整備局 丸山ダム管理支所・ダムマスター生



2025年3月29日撮影



2024年3月16日撮影

春分を迎え、丸山ダム地方にも柔らかな春光が差し込む季節となりました。晴天の空に照らされた堤体は芽吹きを待つ景色の中でひととき存在感を放っています。新丸山ダムの工事も一段と進み、春の訪れとともに景色の変化を感じます。

丸山ダム&新丸山ダム 定点観察
毎週訪れていても、変化が見て取れる新丸山ダム工事ですが、年単位の変化もすごいと思いい、過去の写真と見比べてみたところ、あまりの進みように驚きました。定期的に訪れて変わったところを探してみてもいかがでしょうか？



丸山ダム堤体内熟成茶
貯蔵始まる！
丸山ダムの堤体内で、水源地域で育ったお茶を貯蔵する企画が実現し、テスト貯蔵を開始しました。今から飲むのが楽しみな編集長です。美味しくなれ！